

式年遷宮!

伊勢神宮の式年遷宮が今月行われます。20年に1回、神様をお祀りする神聖な建築物を建替えて、ご神体にお移り頂く行事です。ご神体をそのまま建造物の修復はできません。今回は62回目の遷宮ですが、その度に木材をはじめ、石材や瓦材など建築に使われる材料は十分に吟味され、宮大工も熟練の技能を受け継いできました。

伊勢神宮の遷宮では正殿から始めて別宮まで56棟を建替えています。使われる桧はおよそ13,000本で、神宮の木が3割、木曾の木が7割位です。ご造営が終わると次の遷宮に向けて年間数百本を買い集めていくそうです。買ってくる時に、使う場所を大体決めておき、丸太に干割れが来ないように水中へ放り込んで乾燥(水分傾斜をなくす?)します。3~4年水中貯木してから製材して、乾燥小屋で自然乾燥するそうです。

薬師寺の棟梁だった西岡氏は「木は立っている方向に使え」と言われましたが、伊勢神宮ではあえて、節のない色艶の良い面を正面に持ってきています。20年で建替えるため、耐久力より極力見栄えが良いようにしているそうです。

構造を担保している柱は10m以上、50~60cm径の丸太でとります。また、内宮と外宮の違いは檜木の数が違ったり、柱の上に梁、その上に桁が乗るのが外宮、逆に桁の上に梁が乗るのが内宮だそうです。その他にもいろいろな違いがあるようです。今回の遷宮にかかった費用はおよそ570億円だそうです。

これだけの費用が掛る事と、遷宮のための用地確保が難しい為、遷宮を中止して、リフォームとしての修理になっているところもあります。また、式年(一定の期間)は20年だけでなく、30年、60年というものもあります。今年5月行われた島根県の出雲大社や京都の豊受神社は60年に1回で行われています。大阪の住吉大社や宮城の鹽竈神社は30年に1回ですが、現在は修理のみになっています。

【情報】

「かごしま木の家づくり」研修会が開かれます

日時 平成25年10月22日(火) 13:30~16:30

場所 鹿児島県歴史資料センター黎明館 講堂

講演 * 「認証かごしま材の品質と製造技術~複合乾燥材と高温乾燥材~」

県工業技術センター 地域資源部研究専門員 日高富男 氏

* 「注文住宅とは何か?~失敗しない家づくりのために~」

マキハウス 代表取締役 眞木健一 氏

「第14回かごしま木材まつり」が開催されます

日時 平成25年10月26日(土)~27日(日)

場所 かごしま県民交流センター(建築展との併催です)

【定休日】

10月は5,6,12,13,19,20,26,27日となります

11月は3,9,10,16,17,23,24,30日となります

宜しくお願いします。



杵築祭 (H25.9.28)